



Weekly Report

クラブ会長テーマ ロータリーを楽しもう 友達を増やそう 世界を平和に！

第2115回例会



▲コスモス (撮影:齋藤)

日 時 : 平成24年10月24日

会 場 : 例会場

司 会 : 木島委員長

開会点鐘 : 板倉会長

斉 唱 : ロータリーソング
「それこそロータリー」

お客様の紹介 : 板倉会長

日野 正紀様(地区職業奉仕委員長:東京山の手RC)

会長報告 : 板倉会長

●2013-14年度 補助金管理セミナー開催のご案内

日 時 11月15日(木) 9時30分~16時

場 所 ハイアットリージェンシー東京

出席者 2013-14年度 村上会長・山崎幹事

幹事報告 : 小澤(谷)幹事

●11月のロータリーレートは1ドル80円です。

●次週 10/31(水)は 11/4 市民祭りへ移動例会振替のため休会です。

委員長報告

●市民まつりについて 北島社会奉仕委員長

11月4日、10時集合です。黄色のジャンパーを着用。点鐘11時。社会奉仕委員の方は7時30分集合。よろしくお願ひいたします。

ニコニコBOX

荘原親睦活動副委員長

●**板倉会長** 日野正紀地区職業奉仕委員長の御来訪を歓迎致します。五大奉仕の一つ、大切な職業奉仕のお話楽しみにして居ります。

●**小澤幹事** 地区職業奉仕委員長 日野正紀氏の卓話ありがとうございます。10月20日に長男潤一郎が結婚しました。男3人兄弟なのでムスメができて、うれしいです！

●**吉野会員・村上会員** 地区職業奉仕委員会委員長の東京山の手ロータリークラブ日野正紀様には卓話にご来訪いただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

●**秋廣会員** 10月15日は結婚記念日でした。43年目です。素敵な夫婦箸ありがとうございました。仲良く食事するように心がけます。

●**職業奉仕委員会(社会員・内山会員)** 地区の職業奉仕委員長、日野様のご来訪を歓迎致します。本日の卓話「職業奉仕について」楽しみにしております。

ニコニコBOX 合計19,000円 累計442,000円

出席報告

岡田出席委員

10月24日 在籍46名中 出席30名

前々回(10月10日)の出席率97.67%

閉会点鐘

板倉会長



R.I.第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会 長:板倉 醇 幸 幹 事:小澤 谷 守

例 会 日: 毎週水曜日 例 会 場: 谷保天満宮社務所2階東京都国立市谷保5209 TEL042-576-5123

事 務 所: 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L: http://kunitachi-rc.com/

会報委員: 岡本貞雄 山口康雄 喜連元昭 荘原 健 齋藤博人

職業奉仕について

地区職業奉仕委員長
日野 正紀氏

紹介 辻職業奉仕委員長
日野地区職業奉仕委員長は、三田賢司元会員がガバナ補佐をされていた時の同期であったそうです。私も事前に少しお話をさせてもらって、職業奉仕に目覚めた感じです。本日は非常に良いお話をしていただけたと思います。

職業奉仕の歴史

不思議なことに「ロータリーにとっては職業奉仕は大切」と云われながら職業奉仕はあまり話題に上がりません。意味合いがはっきりしないからでしょう。そこで、職業奉仕の歴史を顧みながら意味合いを尋ねてみたいと思います。

ロータリークラブは、弁護士のポール・ハリスが仲間を集い、明治38年（1905年）米国のシカゴで誕生しました。会員間の親睦と商取引が目的のクラブです。当時、米国は不況のただなかで、シカゴはかのマフィアが横行する無法地帯でしたから、人々は心を許せる仲間を望んでいたのでしょう。ともかく、脅しや騙しがあたりまえで、稼ぐが勝ちの世相ですから当然とも云えます。時宜を得て誕生したロータリークラブは急速に数を増やし、数年後には全米ロータリークラブ連合会が結成されます。

明治43年（1909年）の連合会でビジネススクールの経営者アーサー・シェルドンが Business Method Committee を立ち上げました。シェルドンはこの委員会で「永続的に利益を上げる方法」を説いたわけです。商取引が中心であったロータリークラブは様相が一変しました。クラブの会員はBusiness Methodを自らの仕事で実践し利益を上げていきましたが、所属する同業組合でもこれの実践を推奨し同業者にも利益をもたらすことになりました。マフィアとの熾烈な戦いにも打ち勝ち米国社会に大きな影響をあたえます。ロータリアンは尊敬的になりました。

こうしてロータリーの活動は1920年～1930年代に絶頂期となり、世界中に広がります。日本でも大正9年（1920年）に東京クラブが、大正11年に大阪クラブが設立されました。

Business Methodの中身を見てみましょう

Business Method即ち「永続的に利益を上げる方法」としてシェルドンは「顧客に満足を与えること」と説きました。具体的には適正な品質、適正な価格、納期の厳守、良好な接客態度、確実なアフターケア、法令遵守、などを守ることを云うわけです。裏返して云えば、脅し、騙し、贈収賄、不正、売りっぱなし、法令違反、などは一切しないと云うことになります。こうして見て行くとシェルドンが提唱した Business Method の実践には高い倫理観が必要なことが理解できます。

Business Method は昭和6年（1931年）に英国などの提唱で職業奉仕（Vocational Service）と名称が変わりました。奉仕とは人のために何かを行うことから「職業奉仕」はBusiness Method を実践することとなります。

現在、職業奉仕の標語として「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」がありますが、これはシェルドンの He Profit Most Service Best の日本語訳です。「顧客満足を心掛け事業を行えば、永続的に利潤が得られる」とでも訳すと解りやすいと思います。因みに、台湾では「積善の家には必ず余慶あり」を標語にしています。

縷々述べてきましたので職業奉仕の意味するところは理解願えたと思いますが、これを短い言葉で言い換えますと

**「職業奉仕とは 職業倫理に基づき顧客満足を
目指して自らの職業を営むことである
職業奉仕の実践は 自らの職業を繁栄に導き
職業を通じて社会に奉仕することに繋がる」**

となります。この理念は江戸時代からの伝統的な理念と合致しています。したがって日本人としては至極当然な理念です。とはいえ職業奉仕に悖る行為もまま見受けられるのは残念なことです。私達ロータリアンは職業奉仕の理念を常日頃から念頭に置き行動したいものです。